

修学旅行に“日本で唯一ここだけ”をご提供！

～ 「旅客フェリーの利用促進」と「海事・物流産業のサポーターづくり」の取組 ～

北海道運輸局室蘭運輸支局では、旅客フェリー事業の活性化と海事・物流産業の重要性等の理解醸成を図るため、北海道内の教育関係者と旅行会社を招請し、修学旅行における“日本で唯一ここだけ”のプログラムを組み込んだ、フェリーを利用する修学旅行体験会を実施します。

1. 背景

- ◆北海道内の中・長距離フェリーの旅客利用者数は、1994年をピークに減少し、苫小牧港に就航するフェリーの旅客利用者数は、2020年3月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少し、2022年7月時点においては、対2019年7月比で20%程度減少しています。
- ◆海洋基本法（2007年制定）においては、海洋に関する教育の推進が要請され、新学習指導要領（2017年改訂）においては、地域間の結びつきの学びとして物流の理解等が求められている点に着目し、海事・物流産業の学びを提供するフェリーを利用した修学旅行を提案。
- ◆海事・物流産業においては、少子高齢化等の影響や電子商取引の急速な普及等により、働き手の高齢化と人材不足に伴う労働力の確保が喫緊の課題となっている。

2. 経緯

- ◆昨年度、北海道内中学校の教員と旅行会社を招請して「修学旅行体験会」を実施し、フェリーを利用する修学旅行の実用性のPRとプログラム内容について検証を実施した。
- ◆これを契機として、旅行会社においてフェリーを利用する修学旅行の商品化が図られ、令和5年4月には、北海道内の中学校1校でフェリーを利用した修学旅行が実施される予定となっている。
- ◆また、北海道外の中学校に対しても、当プログラムを活用した修学旅行の商品化が図られている。

3. 目的

- ◆プログラムの学びの効果を関係者に訴求し、フェリーを利用した多様な教育旅行商品の開発を促進する。
- ◆フェリーをはじめとする海事・物流産業施設を利用し、キャリア教育やSDGsを意識したプログラムを構成して、フェリー利用の優位性と実用性をPR。
- ◆教育旅行の商品開発のためのトライアル。
- ◆教育関係者と旅行会社による学習プログラムのクオリティー等の検証。

4. スケジュール

◆Aコース（商船三井フェリー「フェリー さんふらわあ ぶらの」利用）

実施日：令和4年9月9日（金）～9月11日（日）

参加者：7名（教育関係者5名、旅行会社2名）

行程：苫小牧～茨城県、福島県、宮城県

※詳細は「別紙」参照。



乗船予定：商船三井フェリー「さんふらわあ ぶらの」

◆Bコース（太平洋フェリー「フェリーきたかみ」利用）

実施日：令和4年9月30日（金）～10月2日（日）

参加者：11名（教育関係者3名、旅行会社8名）

行程：苫小牧～宮城県

※詳細は「別紙」参照。



乗船予定：太平洋フェリー「きたかみ」

■主な学習プログラム

施設見学等：＊RORO船内、一般貨物船、物流倉庫内、内航コンテナ荷役、タグボート、
港湾荷役機械・トレーラートラックの体験乗車 など

講話：水先人
：船長 フェリー「さんふらわあ ぶらの」
：船長 フェリー「きたかみ」
：船員・パーサー等（Aコースのみ）
：船の環境対策 など

仕事のお話：通関士業務 など

被災地訪問：東北大震災被災地を訪問し震災学習等

*RORO船：船の前後のランプウェイからトラック
やトレーラー等によって直接貨物を積
み卸しするロールオン/ロールオフ方
式の貨物船

5. 事業主体等

主催：北海道運輸局室蘭運輸支局、商船三井フェリー(株)苫小牧支店、太平洋フェリー(株)北海道支店、
苫小牧港開発(株)

協力：苫小牧栗林運輸(株)、協同組合苫小牧タグセンター、苫小牧地区倉庫協会、苫小牧水先区水先人会、
ナラサキスタックス(株)、（一財）北海道港湾福利厚生協会、北海道内航海運組合、
室蘭地区トラック協会苫小牧支部（五十音順）

※取材を希望される場合は、前日の午前中までにご連絡をお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策のためマスクの着用、手指消毒等の徹底をお願いします。

【お問い合わせ先】 北海道運輸局 室蘭運輸支局

電話：0143-23-5001 担当：奥田

北海道運輸局 室蘭運輸支局 苫小牧海事事務所

電話：0144-32-5901 担当：岡本

TOTAL SCHEDULE

別紙

2022年 9月 9日 (金)




「フェリーを利用する修学旅行体験会」

2022年 9月11日 (日)

大洗航路

3 DAYS SCHEDULE

国土交通省 北海道運輸局

1日目	2日目	3日目
9月9日 (金)	9月10日 (土)	9月11日 (日)
9:30 オリエンテーション (苫小牧西港ターミナル)	7:30 朝食 (船内レストラン)	8:30 ホテル発 (いわきワシントンホテル)
10:15 RORO船内見学	9:15 特別授業 (講話) ・船のしごとの話	9:00 環境水族館アクアマリンふくしま
10:50 一般貨物船 (鋼材船) 見学	10:25 意見交換会	10:30 いわき震災伝承みらい館
11:20 物流倉庫見学	11:10 記念撮影	12:00 車中昼食
12:15 昼食 & 移動	11:30 昼食 (船内レストラン)	13:30 中浜小学校 (宮城県山元町震災遺構)
13:50 輸入コンテナ見学		15:50 仙台空港着
14:25 特別授業 (講話) ・通関士のお話	14:00 大洗港着 (大洗フェリーターミナル)	16:55 仙台空港発 (JAL2907便)
14:55 荷役機械体験乗車 トレーラートラック体験乗車	15:00 水戸市歴史・文化等の学び (徳川ミュージアム見学) (弘道館見学)	
16:30 特別授業 (講話) ・水先人のお話 ・フェリー「さんふらわあ」 船長のお話	18:30 ホテル着 (いわきワシントンホテル) (夕食)	18:05 新千歳空港着 (一部解散)
17:30 フェリー船内見学/荷役見学		19:00 苫小牧西港フェリーターミナル (解散)
18:45 夕食 (船内レストラン)		
		
18:45 苫小牧港出港		

(※) 新型コロナウイルス感染症や気象状況により、「変更」「中止」となる場合があります。

TOTAL SCHEDULE

別紙

2022年 9月30日 (金)

2022年10月 2日 (日)

3 DAYS SCHEDULE

「フェリーを利用する修学旅行体験会」

仙台航路

国土交通省 北海道運輸局

1日目	2日目	3日目
9月30日 (金)	10月1日 (土)	10月2日 (日)
9:30 オリエンテーション (苫小牧西港ターミナル)	7:30 朝食 	9:00 ホテル発
10:10 RORO船内見学 (自動車運搬船)	10:00 仙台港着 (仙台港フェリーターミナル)	10:00 仙台うみの杜水族館
11:30 一般貨物船・営業倉庫見学	10:30 荒浜小学校 (宮城県仙台市震災遺構)	11:30 JRフルーツパーク仙台あらはま
12:45 昼食	12:30 昼食	13:00 昼食
14:00 タグボート見学・乗組員講話	13:30 みやぎ東日本大震災津波伝承館 (石巻南浜津波復興祈念公園)	14:00 歴史学習 ～伊達政宗の生涯～ (仙台城跡・青葉城資料展示館) (伊達政宗公霊屋「瑞鳳殿」)
15:00 講話「船のSDGs」	15:00 女川町観光協会 「新たな町のスタート! ～女川の語り部～」	16:55 仙台空港発 
16:00 特別授業 ・水先人のお話 ・フェリー「きたかみ」 船長のお話	17:00 ホテル着	18:05 新千歳空港着 (一部解散)
16:45 フェリー荷役見学	18:00 仙台市内 プロ野球 「東北楽天ゴールデンイーグルス」観戦 ※楽天生命パークでホームゲームが開催さ れる場合 (自由参加)	19:00 苫小牧西港ターミナル (解散)
18:30 夕食 (船内レストラン)		
19:00 苫小牧港出港 		
		(※) 各日行程の詳細は未定です。

(※) 新型コロナウイルス感染症や気象状況により、「変更」「中止」となる場合があります。

- 外国から運ばれた貨物等の見学と、国内の港から貨物を運ぶ船等を見学し、海外や国内各地と北海道との結びつきの理解を深めます。
- 参加者自身の日常生活と海事・物流産業の関わりを学びます。

■ 海外や国内各地と北海道の結びつきの学び
 ■ 生産と消費を結ぶ物流倉庫の役割の学び
 ■ 海事・物流企業等関係者の講話による学び



海外から輸入された貨物等を見学し、北海道と海外との結びつきを学びます。



貨物自動車を運転したまま船内に積み込み（積卸し）、国内の港から（へ）貨物を運ぶ船の内部の見学を実施。



自動車を運転したまま船内に積み込み（積卸し）、国内の港から（へ）貨物を運ぶ船の内部の見学を実施。



海上コンテナを積上げ、積卸しする荷役のデモを実施。



国内から運ばれた海上コンテナの中身の見学等を実施。



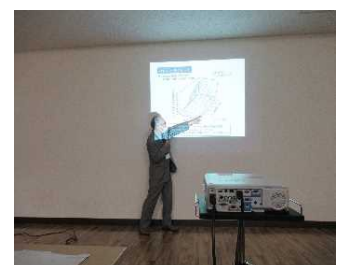
荷役機械、トレーラートラックの体験乗車を実施。



生産と消費を結び、商品の保管や配送する拠点として、物流の重要な役割を担う物流倉庫の見学。



旅客船と貨物船の二刀流の役割をもつフェリーの客室と荷役の見学を行います。

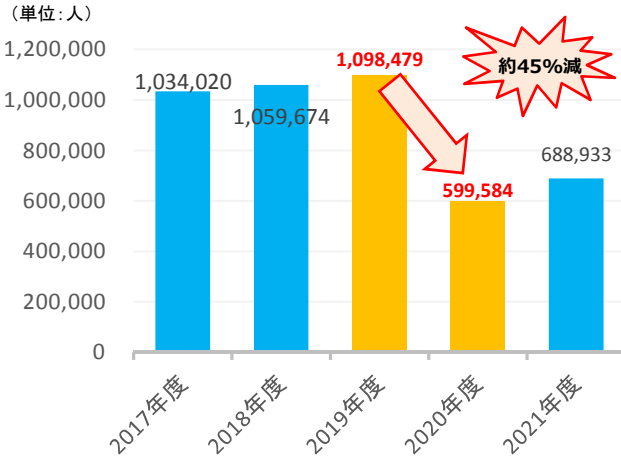


船長や船を動かす船員の仕事、船が動くために必要なサポートの仕事（水先人）、税関を通るための通関業務（通関士）などの講話を行います。

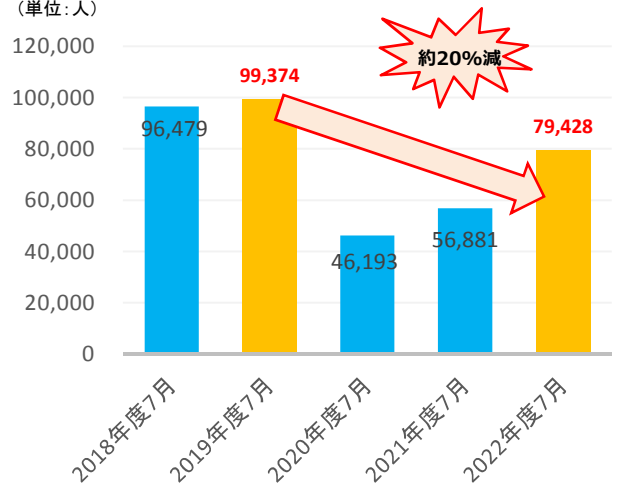
フェリー旅客輸送実績

出典：国土交通省北海道運輸局

北海道内 中・長距離フェリー

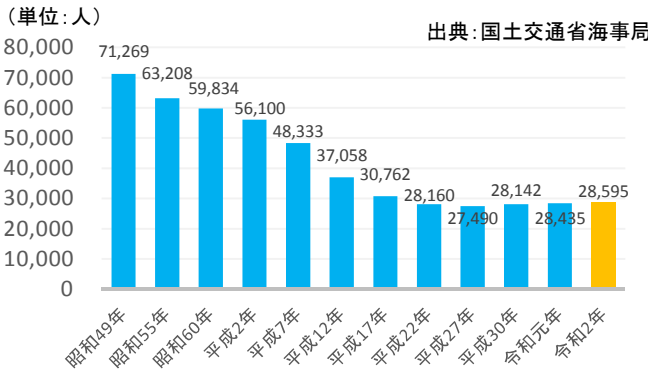


苫小牧港 中・長距離フェリー

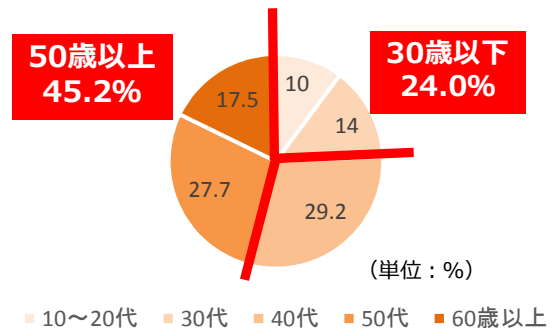


海事・物流産業の状況

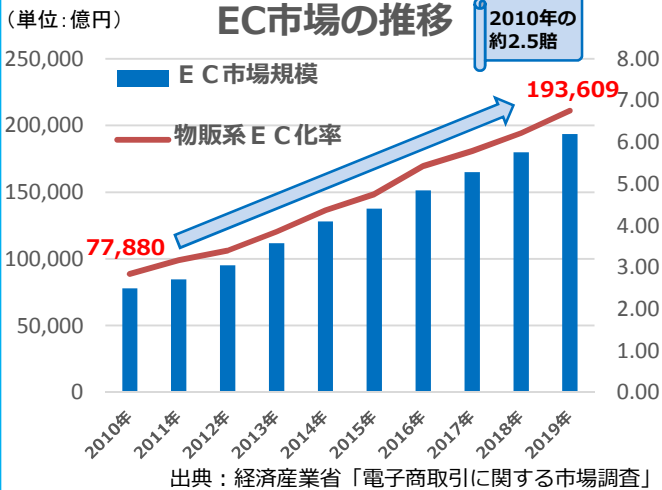
内航船員数の推移



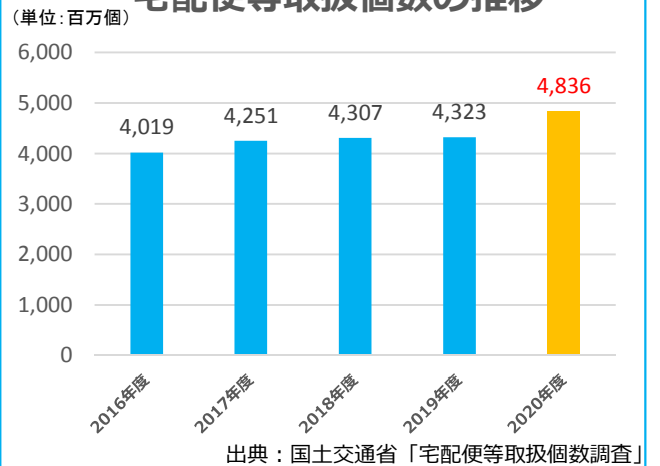
トラック運転手の年齢構成



EC市場の推移



宅配便等取扱個数の推移



北海道運輸局室蘭運輸支局 担当あて
(締切 9月8日(木) 午後3:00 時間厳守)

FAX:0143-23-8408

取材申込書

■取材箇所(取材希望箇所の□にチェックをお願いします。)

行程	時間	取材希望
《9月9日(金)》		
1. オリエンテーション	9:30~9:45	<input type="checkbox"/>
2. RORO船内見学	10:15~10:40	<input type="checkbox"/>
3. 一般貨物船見学 (鋼材船)	10:50~11:15	<input type="checkbox"/>
4. 物流倉庫見学	11:20~11:50	<input type="checkbox"/>
5. 東港物流倉庫見学 (通関・デバンニング)	13:50~14:20	<input type="checkbox"/>
6. 特別授業(講話) (通関士業務)	14:25~14:50	<input type="checkbox"/>
7. 内航コンテナ荷役デモ 荷役機械体験乗車 トラック体験乗車	14:55~15:35	<input type="checkbox"/>
8. 特別授業(講話) (水先人)	16:30~17:00	<input type="checkbox"/>
9. 特別授業(講話) (フェリーさんふらわあ 船長)	17:00~17:25	<input type="checkbox"/>
10. フェリー見学 (客室と荷役見学)	17:30~18:15	<input type="checkbox"/>
《9月10日(土)》		<input type="checkbox"/>
《9月11日(日)》		<input type="checkbox"/>

■会社名及び部署名

■取材者 役職・氏名(全員の役職・氏名を記載願います。)

①(代表者)

②

■連絡先(代表者の連絡先)

■テレビカメラ持ち込みの有無
(該当するものに○をつけてください。)

有 ・ 無

※見学時間が変更となる場合がありますので、ご注意ください。
※西港フェリーターミナルの駐車場は、第1駐車場となります。
※当日の見学時間の確認先は、090-5224-6089 番です。

北海道運輸局室蘭運輸支局苫小牧海事事務所 担当あて
(締切 9月29日(木) 午後3:00 時間厳守)

FAX:0144-33-1779

取材申込書

■取材箇所(取材希望箇所の□にチェックをお願いします。)

行程	時間	取材希望
《9月30日(金)》		
1. オリエンテーション	9:30~9:45	<input type="checkbox"/>
2. RORO船内見学	10:10~	<input type="checkbox"/>
3. 一般貨物船見学 (鋼材船)	11:30~	<input type="checkbox"/>
4. タグボート見学	14:00~	<input type="checkbox"/>
5. 特別授業(講話) (船の環境対策)	15:00~	<input type="checkbox"/>
6. 特別授業(講話) (水先人) (フェリー船長)	16:00~	<input type="checkbox"/>
7. フェリー荷役見学	16:45~	<input type="checkbox"/>
《10月1日(土)》		<input type="checkbox"/>
《10月2日(日)》		<input type="checkbox"/>

■会社名及び部署名

■取材者 役職・氏名(全員の役職・氏名を記載願います。)

①(代表者)

②

■連絡先(代表者の連絡先)

■テレビカメラ持ち込みの有無

(該当するものに○をつけてください。)

有 ・ 無

※見学時間が変更となる場合がありますので、ご注意ください。
※西港フェリーターミナルの駐車場は、第1駐車場となります。
※当日の見学時間の確認先は、090-8275-5040 番です。